

「旅」上質主義 ワールド航空サービスの旅づくり

これまでも、これからも、いつまでも。
生涯の心に残る楽しい感動的な旅を。

旅に心の潤いを求めるお客様へ。私たちは1971年の創業以来、お客様の満足を最優先に考え、常に新たな挑戦を続けてきました。これが私たちの歩んできた道であり、これからも変わることはありません。お客様の期待に応えるために、私たちは多様なサービスと独自の旅づくりを続けて参りました。安心で楽しく、そして満足度の高い旅を提供するために、私たちが大切にしている理念と取り組みをホームページや印刷物でご紹介しています。私たちの旅づくりは、これまでも、これからも、いつまでも、お客様の心に寄り添い続けます。

ワールド航空サービスの「サステイナブルな旅づくり」にご協力ください

これまで海外旅行にご参加いただいたお客様に、資料発送時にお送りしていましたA4サイズのプラスチック製ファイルや、スーツケースのタグを環境配慮への取り組みとして、これまでのプラスチック製から素材を見直しました。環境負荷を低減する植物由来樹脂を一部配合したフィルムを使用。破れにくく、水をはじく素材です。印刷はベジタブルインクを使用。小型化し、2つ折りで旅のしおり等の持ち運びにもぴったりのサイズにしました。

「ワールド航空サービスの旅づくり」は印刷物でもご用意しています。ツアーもパンフレットとともにご請求ください。なおホームページからもご覧いただけます。私どもの「こだわり」をぜひご覧ください。



様々なサステイナブルな旅づくりへの取り組みを行っています
詳しい内容は
ホームページでご覧いただけます。



●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立

旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの

(1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。

- ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
- ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
- ③ 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
- ④ 食事の料金(機内食は除く。)
- ⑤ 添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
- ⑥ 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
- ⑦ 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金
- ⑧ 団体行動時の必要な心付け
- ⑨ 旅行日程中の海外の空港税、通関税、同空港利用料
- ⑩ その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したものの

(2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの

上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。

- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
- (2) 個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
- (3) 渡航手続関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)
- (4) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
- (5) 日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
- (6) 港湾利用料、政府関連諸税等
- (7) 燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

(1) 部屋割りには、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各

地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。

- (2) 可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

※ホテルの★の数の記載に関して

弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光

船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることもあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について

座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について

当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

4:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて

■観光について：●＝入場観光 ○＝下車観光 国＝ユネスコ世界遺産

■お食事：●＝朝食(原則としてホテルでの朝食をご用意しておりますが、ツアー行程の関係で簡単なボックスブレイクファースト等となる場合もございます) ●＝昼食 ●＝夕食(軽めのお食事前からしっかりとしたコース料理、ピュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご利用しております。また、ツアー行程の関係で簡単なボックススタイル等の食事となる場合もございます) ●＝機内食 □＝食事なし

■乗り物：→＝航空機 ●＝バス ●＝列車 ●＝自動車 ●＝船 ●＝ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について

パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを掴んでいただけるよう、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度で撮影いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、おおよその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを掴んでいただくためのものです。

旅行企画・実施 **ワールド航空サービス**

□ **東京支店** TEL: 03-3501-4111

東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

□ **大阪支店** TEL: 06-6343-0111

大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 柴尾 祐樹

□ **名古屋支店** TEL: 052-252-2110

名古屋市中区栄3-14-7 RICC栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号

□ **九州支店** TEL: 092-473-0111

福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多倍成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子

□ **札幌支店** TEL: 011-232-9111

札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

□ **湘南支店** TEL: 0466-27-0111

神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンパビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

心に残る高品質な旅

WORLD

アフリカ

東京発2025.11月▶2026.1月出発



あなたの旅を想うことから
旅を紡いで55年。

未知なるアフリカへの扉を開く。 歴史、民族、絶景が織りなす感動の旅

- ① 民族にふれあう 南エチオピア探訪の旅
- ② 南北アンゴラ大自然の旅
- ③ コートジボワール、ガーナ、トーゴ、ベナン4か国の旅

エチオピア・ハマル族の親子(イメージ)

驚きの毎日が待っている

民族にふれあう

南エチオピア探訪の旅 10日間



竹馬を上手に操るバンナ族の男子たち (以下、このツアーの写真はすべて添乗員撮影)

ここに注目。旅のポイント

独特の風貌、色鮮やかな衣装を纏う
少数民族を訪ねます

80以上の民族がそれぞれ異なる言語を有するエチオピア。民族ごとに異なる様々な風習や文化にふれる旅は驚きの連続です。このたびは個性的な7つの民族に出会える機会を設け、また、曜日市も2回(アルドゥバの火曜日とカイアフールの木曜日)、ツアーに盛り込み、各民族の特徴や生活習慣をしっかりと紹介します。

【ドルゼ族】

ドルゼ族は、アルバミンチ近郊のガモ高地に暮らす少数民族で、歴史的には、勇猛果敢な戦士として、他の少数民族から恐れられていましたが、現在は農耕や織物に従事するようになりました。



「象」をイメージしたドルゼ族の家屋

【コンソ族】

標高800～1,800m程の山岳地帯

ドルゼ族にとって欠かせないものは、竹・フォルスバナナ(偽バナナ)・コットン(綿)の3つです。これらで生計を立て、「象」をイメージした巨大な小屋を竹で築いて暮らしていることで有名です。



機織りは男性の役目、糸を紡ぐのが女性の役目

る土地と資源をとことん利用してきました。そして、その文化的景観は、



石垣に囲まれたコンソ族の村

【バンナ族】

バンナ族はトゥルミからディメカ、アルドゥバ、カイアフールに通じる幹線沿いの村に住み、牧畜、狩猟、採集で生計を立てています。男性は、脂肪を混ぜた灰などで体に模様を付けることがあり、また、竹馬が上手なことでも知られていますが、これは家畜を見張る際に、見やすいためだとされています。一方、女性は結婚するとドレッドヘアになり、赤土やバターをすり込み、ビーズで飾り付けをします。尚、女性の首輪の数は、一夫多妻制を採るバンナ族では、何人目の妻かを意味しています。

【ハマル族】

ハマル族は牧畜業を営み、牛に高い価値を置いています。女性は首

2011年にユネスコの世界遺産リストに登録されました。

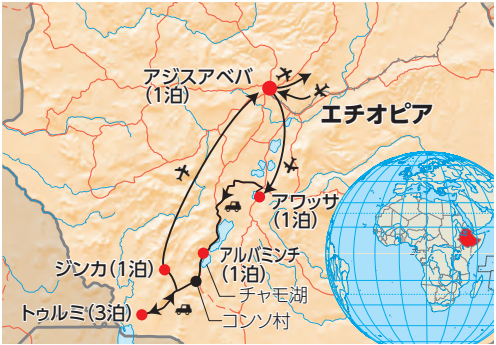


男性の通過儀礼では、70kgはあるかという重い石を持ち上げ、背中の方に放り投げるそうです



アルドゥバの火曜日にて、女性が手に持っているのは瓢箪で出来たカバンです

にはネックレスをかけ、腕にはカラフルなアクセサリーが飾られています。一夫多妻制を採用しており、1



ツアープランナーより

様々な民族に出会える南エチオピアの旅。このたびは、首都のアジスアベバから南エチオピアへは往復航空機を利用し、お身体へのご負担も抑えつつ、無駄のない行程に仕上げました。そして、個性的な様々な民族に出会うだけではなく、曜日市を2回組み込むことで、各民族の生活ぶりがよりわかるように工夫しております。トゥルミやジンカでは設備に限りはございますが、各宿泊地で可能な限り設備が整ったホテルを厳選し、また、お食事もおエチオピア料理をご紹介しますとともに、お口に合いやすいメニューもご用意しました。さらに、コーヒーセレモニーでエチオピアの伝統的なおもてなしを体験したり、2つの湖でボート遊覧を楽しんだり、多岐にわたるプログラムを含めました。道路状況も以前に比べ格段に良くなっており、未舗装の道路も減っております。旅行しやすくなった南エチオピアへ、ワールドこだわりの行程でご参加ください。

番目の妻や2番目の妻はネックレスの数やデザインで見分けています。一方、男性は、ミニスカートのような腰巻を着用し、頭にはハチマキのようなアクセサリーを乗せることもあり、手には木製の携帯用イス兼マクラ「ボルコット」を持参しています。



踊るハマル族の女性たち

【カロ族】

カロ族は、ボディペインティングやフェイスペインティングを得意とし、周辺に集落がありませんことから、近隣の多くの部族とは一線を画し、この地域で暮らす少数民族としては最も少なく、推定人口は1,000～1,200人とされています。眺めの良いオモ川東岸に住み、農業で生計を立てています。



オモ川を見渡せる高台にて

【ツェマイ族】

女性の多くは革製の服を身に着け、髪を赤土やバターで塗り固め、未婚の女性は牛革にビーズの装飾を施したスカートをはいていることも。一方、男性の多くは「ボルコット」を持参し、顔にはタトゥーを入れ、頭にはニワトリのトサカのような装飾が付いた髪飾りを付けています。



中央の男性が手に持っているのが「ボルコット」



牛革にビーズの装飾をしたスカートを着る女性

【アリ族】

穏やかで人懐っこいアリ族はモノづくりに長けた民族。日常生活に使う様々な道具や食品は自分たちで作ってしまいます。村には生活に欠かせないトウモロコシやバナナ、ホップが植えられています。



陶器を作る女性

湖の遊覧、魚市場訪問、コーヒーセレモニー体験など、
自然や文化を楽しむ

アワッサでは魚市場を訪問。アルバミンチ郊外にあるチャモ湖では、ボート遊覧にご案内します。さらに、エチオピアの伝統的な歓迎セレモニーとして有名な「コーヒーセレモニー」も体験していただけます。



コーヒーセレモニーの様子

ご宿泊ホテル

■アワッサ：ハイレ・リゾート・アワッサ

ロビーの下の階からアワッサ湖畔まで、ホテルの敷地を散歩しながらアクセスできる、設備の整ったホテル。

■アルバミンチ：ハイレ・リゾート・アルバミンチ

チャモ湖やアバヤ湖を見下ろせる丘の上に建つ、設備の整ったホテル。

■トゥルミ：ブスカ・ロッジ

優しい味付けの食事に定評があるロッジ。客室の設備は簡素となります。※お湯が出ない、停電など不備が生じる可能性がございます。

■ジンカ：エコ・オモ・ロッジ

緑が生い茂る敷地にコテージタイプの客室が点在するロッジ。レストランからは周辺の自然を俯瞰できます。※お湯が出ない、停電など不備が生じる可能性がございます。

■アジスアベバ：ラディソン・ブリュ・ホテル

アメリカンタイプの設備が整ったホテル。

※各地のホテルはいずれもシャワーのみの客室となります。

※エチオピアでは宗教行事など現地の諸事情によりホテルが急遽変更となる場合があります。現地事情としてお含みおきください。

利用予定航空会社：エチオピア航空

ツアーコード：FE003T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【成田空港集合・10日間】 11月21日(金)	エコノミークラス利用 ¥698,000	ビジネスクラス利用 ¥1,298,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥70,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：成田～アジスアベバ間往復に適用		
燃油サーチャージ：旅行代金に含まれております。		
地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 福岡・札幌～東京	片道 …… ¥5,000 片道 …… ¥10,000

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港20：30発→	成田空港より、航空機にてソウルを経由し、アジスアベバへ。	(機中泊) □□機
2	アジスアベバ107：45着 アジスアベバ12：00発→ アワッサ13：00着	航空機を乗り換え、アワッサへ。 午後、 アワッサ の観光。 アワッサ湖のボート遊覧 をお楽しみください。 夕刻、ホテルにチェックイン。	(アワッサ泊) 機□夕
3	アワッサ朝発 ㊦ (ドルゼ族の村) ㊦ アルバミンチ夜着	午前、 アワッサ の 魚市場 に立ち寄り、 ドルゼ族 の村へ。 昼食後、アルバミンチへ。	(アルバミンチ泊) 朝㊦夕
4	アルバミンチ朝発 ㊦ (コンソ族の村) ㊦ トゥルミ夜着	午前、 チャモ湖 のボート遊覧をお楽しみいただき、 山岳地帯で自給自足の生活続けるコンソ族の村(文化的景観は世界遺産) へ。 午後、 コンソ族の村 を見学し、トゥルミへ(途中、未舗装の道路が含まれます)。	【3連泊】(トゥルミ泊) 朝㊦夕
5	トゥルミ ㊦ (アルドゥバの火曜日) ㊦ (カロ族の村)	本日は火曜日。午前、 アルドゥバで開かれるハマル族や髪型に特徴のあるバンナ族が集まる火曜日市 を訪ねます。 午後、オモ川流域に暮らすボディペインティングを施す カロ族の村 を訪ねます(途中、未舗装の道路が含まれます)。	(トゥルミ泊) 朝 昼㊦
6	トゥルミ ㊦ (ハマル族の村) ㊦ (コーヒーセレモニー)	午前、赤土で髪を結わう ハマル族の村 を訪ねます。 午後、 エチオピアならではのコーヒーセレモニー を体験いただきます。	(トゥルミ泊) 朝 昼㊦
7	トゥルミ朝発 ㊦ (ツェマイ族の村) ㊦ (カイアフールの木曜日) ㊦ ジンカ夜着	午前、カラフルな民族衣装で知られる ツェマイ族の村 や カイアフールの木曜日市 へ。 午後、ジンカへ。	(ジンカ泊) 朝㊦夕
8	(アリ族の村) ㊦ ジンカ14：05発→ アジスアベバ15：25着	午前、モノづくりに長ける アリ族の村 を訪ねます(注) (途中、未舗装の道路が含まれます)。 午後、航空機にてアジスアベバへ。	(アジスアベバ泊) 朝㊦夕
9	アジスアベバ122：35発→	午前、ゆっくりお過ごしください。 午後、 アジスアベバの観光 。● 大学内民俗学博物館 などへご案内します。	(機中泊) 朝 昼機
10	成田空港19：30着	夜、航空機にてソウルを経由し、帰国の途へ。	機機□

※現地の状況により、観光の順序を入れ替えてご案内することもございます。予めご了承ください。
(注) 現在、下唇に皿を嵌め込むムルシ族の村は、情勢不安のため訪問が禁止されています。予めご了承ください。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食7回、夕食7回 ■添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上必要 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要
■エチオピア査証料：60米ドル (2025年4月現在) ※査証代金は変動する可能性があります。正確な金額は現地に添乗員よりご案内いたします。※アジスアベバ空港での取得となります。

① エチオピアの現地事情

■ **写真撮影に関して**：南エチオピアの少数民族の撮影には、チップが必要となります。ひとつの村において、おひとり様につき約5ドルが相場ですが、その都度、ガイドさんに確認しながらご案内します。

■ **望遠鏡に関して**：4月1日現在、エチオピアには望遠鏡の持ち込みが禁止されており、所持していると入国時に没収されてしまいます。つきましては、小型のオペラグラスを含め、お持ちにならないようご注意ください。

■ **移動・行程に関して**：南エチオピアでの移動には四輪駆動車を使用します。1台につき3名様を上限に分乗にてご案内します。万が一、車両に故障などが生じた場合は、一時的に詰めてお掛けいただく場合がございます。また、天候や道路状況、少数民族の村の都合等により、日程を入れ替えてご案内することもございます。

■ **ホテルに関して**：各宿泊地においては設備の整ったホテルやロッジをご用意しておりますが、特にトゥルミとジンカは宿泊施設に限りがあるため、停電が起こる、湯の出が悪い、あるいは出ない、トイレトペーパーの補充がない等の問題が発生する可能性があります。可能な限り対応致しますが、現地事情としてお含みおきください。

■ **食事に関して**：セットメニューまたはビュッフェ形式でご提供となります。エチオピア料理もございますが、西洋料理も多めにご用意しております。比較的、優しい味付けで、日本のお客様の口にも合うと言われておりますが、食材が限られるため、簡単なインスタント食品を持参されるのも良いでしょう。

査証が不要になったアンゴラ
 好評のツアーが再び登場！
 南北アンゴラ大自然の旅
 10日間



アンゴラ北部

首都ルアンダから360キロ程北東に位置するカランドゥーラの滝。アフリカでは落差108メートルのビクトリアの滝に次ぐ、第二の落差105mを誇ります。訪れていただく時期は水量も多く、水煙たつ荒々しいカランドゥーラの滝をご覧いただけるでしょう(添乗員撮影)

ここに注目。旅のポイント

南北アンゴラに点在する、大自然の数々をご紹介します

アフリカには54カ国あり、その中で7番目の大きさを誇るアンゴラ。その広さは実に日本の約3.3倍あり、大自然が南北アンゴラに広がります。しかも、ここでしか見られないような独特な景観がいくつもございます。このたびは、その中から特にご覧いただきたい景観を選びました。圧巻かつ驚愕の大自然に魅了されることでしょう。

【アンゴラ北部】



ポルトガル語で「月が見える場所」という意味の「ミラドゥーロ・デ・ルアー」。クレーターのような濃いオレンジ色の断崖が続く壮大な景観は圧巻です(添乗員撮影)



カランドゥーラの滝からそれほど遠くない場所に位置するペドラス・ネグラス(ポルトガル語で「黒い岩」の意)。その名の通り、丸みを帯びた巨大な黒い岩が林立した風景を遠望します(添乗員撮影)

ツアープランナーより

アフリカ大陸の南西部、ナミビアの北に位置するアンゴラ共和国。日本の方には決してなじみ深い国ではありませんが、2025年1月にワールドで初めてツアーとしてご案内したところ、広大で肥沃な大地に広がる自然景観に加え、都市部ではポルトガル植民地時代の面影、さらに南部には民族色豊かな文化が色濃く残るなど、その潜在的な観光要素は実に多種多様で、大好評でした。アンゴラは、数百年にわたるポルトガルの支配から独立し、30年以上に及ぶ内戦が20数年前まで行われていましたが、天然ガスや金、ダイヤモンドなど豊富な鉱物資源が埋蔵され、近年の経済の発展に伴い、治安情勢も観光でご案内できるレベルにまで安定。加えて、近年までは在日大使館へ本人出頭による査証取得をする必要がございましたが、査証不要になったことでその煩わしさもなくなりました。訪れやすくなった国アンゴラへ、この機会を逃さず、足をお運びください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



アンゴラ南部

ナミビアからアンゴラにかけて広がるナミブ砂漠にしか生息しない、寿命数千年といわれる稀少植物ヴェルヴェッチア(奇想天外)もご覧いただけます(添乗員撮影)

【アンゴラ南部】



ツンダバラの絶壁。ほぼ垂直に切り立つ巨大な岩山付近は、スリル満点の眺望が広がります(添乗員撮影)



ルバンゴのあるウイラ州からナミベ州へは一気に標高を下げますが、その際に通るのが、セラ・ド・レバ峠。ヘアピンカーブを下ると、熱帯から沿岸砂漠へと気候も変わります(添乗員撮影)



ナミベから約70キロ南に位置するアルコス湖周辺に広がるコリナス・キャニオン。風化によって空洞ができた奇岩など、特異な光景が広がります(添乗員撮影)

ビザなし渡航が可能に！ 格段に訪れやすくなったアンゴラへ

これまでアンゴラに渡航する際にはビザを取得する必要があり、しかも生体認証情報提出のため、渡航者本人がご自身で大使館に赴く必要がありました。しかし、2023年9月29日以降、日本人は観光ビザが免除となったことでこの煩わしさがなくなり、皆様にとってアンゴラという国が各段に訪れやすい国となりました。なお、引き続き、黄熱病予防接種証明書は必要となりますので、お持ちでない方はどうぞお早目にご取得ください。

アンゴラ共和国 (Republic of Angola)

- 面積：124.7万平方キロメートル(日本の約3.3倍)
- 人口：3,558万人(2022年:世銀)
- 首都：ルアンダ(約907.9万人、2022年:国家統計院)
- 民族：オヴィンブンドゥ族(約37%)、キンブンドゥ族(約25%)、パコンゴ族(約13%)等
- 言語：ポルトガル語(公用語)、その他ウンブンドゥ語等
- 宗教：カトリック(41%)、プロテスタント(41%)、無宗教(12%)、アニミズム(0.6%)、イスラム(0.4%)、ユダヤ(0.2%)
- 略史：1483年 ポルトガル人が到達
16世紀後半 ポルトガル人による植民地開始
1950年代 ポルトガルの海外州となる、民族運動台頭
1975年11月1日 アンゴラ人民共和国の独立宣言、ネト大統領就任、内戦勃発
2002年4月4日 停戦合意、27年に及ぶ内戦終結



ポルトガルの面影を残しながらも発展し続ける

首都ルアンダに計4泊

実にアンゴラの全人口の約1/4にあたる約908万人もの人口を誇る、アンゴラ最大にして首都のルアンダ。16世紀後期にポルトガル人によって植民され黒人奴隷の輸出港として町が築かれると、以後、奴隷貿易を中心に町は発展していきました。20世紀半ばになるとポルトガルからの独立戦争が起こり、晴れて独立を果たすも内戦の暗黒時代へ突入。ルアンダは常に戦禍に見舞われてきました。2002年4月4日に内戦に終止符が打たれると、遂にルアンダをはじめとしたアンゴラに平和が訪れ、



大西洋沿岸の海岸通り沿いには、高層ビルが林立し発展を遂げています(イメージ)

車窓からの風景や少数民族との出会い、日本では馴染みの薄いアンゴラ料理などをお楽しみください

大自然だけがアンゴラの魅力ではありません。車窓からご覧いただける植生やローカル・マーケット、また、旅行中にお召し上がりいただく海の幸豊富なアンゴラ料理やポルトガル・ビール、そして南部アンゴラで訪れる少数民族ムイラ族が暮らす村訪問など、すべてが日本では決して体験したり味わったりすることのできない非日常です。多彩なアンゴラの魅力をお楽しみください。



ルバンゴ近郊ムイラ族の村を訪問します。現在でも文明社会とほとんど接触することなく、独自の伝統的な生活を続けています(添乗員撮影)

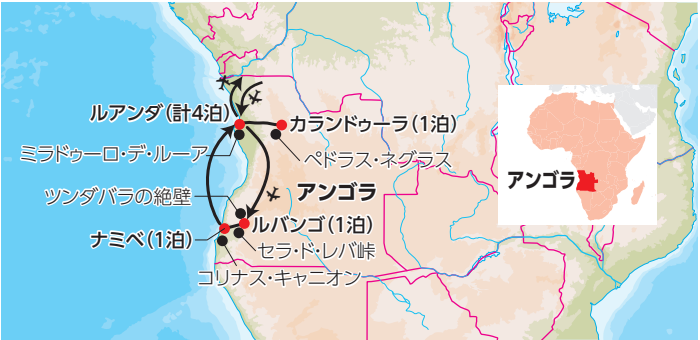


ナミベ近郊 ローカルなマンゴーの市場(添乗員撮影)

ご宿泊ホテル

- ルアンダ：ホテル・コンチネンタル・ホリゾンテまたはホテル・サンバまたはホテル・スキナ
- ルバンゴ：カスパー・リゾートまたはブルルクワ・リゾートまたはキンボ・ソバ
- ナミベ：チク・チク・ナミベまたはIUホテルまたはホテル・インフォトゥル
- カランドゥーラ：ポウサーダまたはカホンボまたはコンブレソ・アグラリオ・パセ・ヴィダ

※いずれもシャワーのみの客室となります。
※各町において、設備の比較的整ったホテルを選定はしておりますが、お国柄、ホテルの客室の設備には限りがございます。特にルバンゴ、ナミベ、カランドゥーラといった地方都市では、お湯の出が悪い、電球が切れている、水はけが悪いなどの事象が起こる可能性があります。可能な限り、添乗員が対応致しますが、限りがございますこと、予めご了承ください。
※各町、上記ホテルのいずれかを予定しておりますが、場合によっては同等クラスの他のホテルへと変更となる場合もございます。予めご了承ください。



利用予定航空会社：エチオピア航空、エミレーツ航空

ツアーコード：FS046T

集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田または羽田空港集合・10日間】 11月10日(月), 1月19日(月)	エコノミークラス利用 ¥895,000	ビジネスクラス利用 ¥1,635,000	
【成田または羽田空港集合・10日間】 12月26日(金)	エコノミークラス利用 ¥975,000	ビジネスクラス利用 ¥1,775,000	
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥140,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：東京〜ルアンダ間の往復に適用			
燃油サーチャージ別途目安：ビジネスクラス¥58,500、エコノミークラス¥31,600：4月1日現在			

地方発着追加代金	大阪・名古屋〜東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌〜東京 片道 …… ¥10,000	但し付帯条件がございますので各支店へお問い合わせください
----------	--	------------------------------

欧	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港20：30発→	夜、成田空港より航空機にてソウルを経由し、	アジシアベバへ。 (機中泊) □□機
2	アジシアベバ107：45着 アジシアベバ109：40発→ ルアンダ12：25着	航空機を乗り換え、アンゴラの首都ルアンダへ。 着後、ホテルにチェックイン。	(ルアンダ泊) 朝機☒
3	ルアンダ17：40発→ ルバンゴ19：20着	午前、ルアンダ市内観光へ。 エッフェルが手掛けた○鉄の宮殿(文化センター) 、 ●サン・ミゲル要塞 などにご案内します(注1)。 夕刻、国内線航空機にてアンゴラ南部の町ルバンゴへ。	(ルバンゴ泊) 朝機☒
4	ルバンゴ午前発 ☞ ナミベ夕刻着	午前、 ムイラ族が暮らす村 、 ツンダバラの絶壁 を訪ねます。 午後、ルバンゴのあるウイラ州からナミベ州へ。途中、 ヘアピンカーブの続くセラ・ド・レバ峠 を下り、熱帯から沿岸砂漠へ向かいます。	(ナミベ泊) 朝機☒
5	ナミベ16：05発→ ルアンダ17：50着	早朝、 コリナス・キャニオン へ。高さ約25mの奇岩が林立する湯を訪ねます。 自然のアーチ もございします。また、アンゴラと隣国ナミビアにしか生息しない寿命数千年と言われる 稀少植物ヴェルヴェッチア(奇想天外) もご覧ください。 夕刻、国内線航空機にてルアンダへ。 着後、ホテルへ。	【2連泊】(ルアンダ泊) 朝機☒
6	ルアンダ (ミラドゥーロ・デ・ルアー)	終日、浸食された大地が創り出す絶景 ミラドゥーロ・デ・ルアー (「月が見える場所」という意)へ。クレーターのような濃いオレンジ色の断崖が続く壮大な景観は圧巻です。	(ルアンダ泊) 朝機☒
7	ルアンダ08：00発 ☞ カランドゥーラ16：30着	終日、カランドゥーラへ(注2)。 着後、ビクトリアの滝に次いでアフリカ第2位の落差(約105m)を誇る アンゴラ最大の滝「カランドゥーラの滝」 を見学します。	(カランドゥーラ泊) 朝機☒
8	カランドゥーラ08：00発 ☞ ペドラス・ネグラス ☞ ルアンダ20：00着	午前、 巨大な岩山が連なるペドラス・ネグラス(黒い岩) を遠望できるスポットへ(注3)。高さ70～200mまで様々な形や大きさの岩山が集積した奇岩群に関しては未だ謎が多いようです。 その後、ルアンダへ戻ります。	(ルアンダ泊) 朝機☒
9	ルアンダ13：50発→ アジシアベバ20：35着 アジシアベバ22：35発→	午前、ルアンダ空港へ。 午後、航空機にてアジシアベバへ。 航空機を乗り換え、ソウルを経由し、帰国の途へ。	(機中泊) 朝機機
10	成田空港19：30着	夜、成田空港着後、解散。	機機□

※日程表の時刻は成田空港発着のエチオピア航空の利用を想定したものです。他航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

※アンゴラ国内線航空機のスーツケースの重量は20kgまでとなります。つきましては、ご旅行を通して、スーツケースの重量は20kgまででご準備ください。
※アンゴラの国内線航空機のスケジュールは頻繁に変わります。つきましては、日程表のスケジュールを調整してご案内する場合もございます。また、5日目はナミベ空港ではなく、ルバンゴ空港を利用する場合もございます。予めご了承ください。
(注1)ルアンダの観光は他の日にご案内する場合もございます。
(注2)7,8日目、ルアンダとカランドゥーラの往復は長時間の移動となります。また、部分的に悪路も含まれております。予め、ご了承ください。
(注3)岩のすぐ近くまでは悪路のため行きません。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事:朝食7回、昼食6回、夕食7回 ■添乗員:成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。■バスポート必要残存有効期間:帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄:見開き2ページ以上、計4ページ必要

■このコースでは黄熱病予防接種証明書が必要です。昨今、ワクチン不足に伴い、黄熱病予防接種のための予約が大変取りづらくなっております。つきましては、新たにご取得される方は、お申し込みと同時に予防接種の予約をされることをお勧めいたします。詳細はお問い合わせください。

象牙海岸、黄金海岸から奴隷海岸へ
エネルギッシュなアフリカの素顔に触れる

コートジボワール、ガーナ、トーゴ、ベナン4か国の旅

14日間



エルミナの海岸(ガーナ)

ここに注目。旅のポイント

象牙海岸の国コートジボワール

コートジボワールとはフランス語で「象牙海岸」という意味です。その名の通り、かつてイギリスやポルトガルはこの地から象牙を大量に輸出していました。現在はチョコレートの原料であるカカオの生産が全世界の約35%を占めており、また、



世界遺産の都市グラン・バッサム(イメージ)



発展目覚ましいコートジボワール最大の街アビジャン(イメージ)

かつてのアシランティ王国の歴史を感じるガーナ多岐に及ぶ魅力をご紹介します

ガーナと言えばチョコレート进行い出すでしょう。しかしそれだけではありません。この国は野口英世博士が亡くなった地でもあり、比較的日本人に馴染みのある国ではない

でしょうか。このツアーでは野口氏活躍した研究室も訪ねます。また、かつてのアシランティ王国の王都がガーナ北部に位置する町クマシです。当時、アシランティ族の王

族のために織られたカラフルな「ケンテ織り」は、現在でもこの町、いやガーナの特産品として知られています。さらに、世界遺産のセント・ジョージ要塞や、かつて奴隷の積出港であったケープコースト要塞な



世界遺産のセント・ジョージ要塞



奴隷の積出港であったケープコースト要塞 ©David Stanley

どのあるエルミナも訪ねます。少し変わった見どころとしては「棺桶マーケット」もございます。様々な魅力を秘めた国、それがガーナです。見どころの多いガーナでは合計6泊してご案内します。



アシランティの伝統建築(イメージ)



カラフルなケンテ織りはガーナを代表する工芸品です(イメージ)

ベナンではかつてのダホメー王国の王宮や水上集落を訪ねる

ベナンはアフリカ大陸の中でも極めて独特な文化を持ち、小さいながら歴史的・文化的な見所を数多く有しています。世界遺産に登録されている、ダホメー王国時代の王宮が残るアボメイ、アフリカ最大の水上集落ガンビエ、奴隷貿易の記

憶を呼び起こす「不帰の門」などはこの国ならではの訪問地です。「アフリカ」民主化のモデル国とも言われ、部族間の争いはほとんどなく、複数政党による民主政治が行われ、治安も安定しています。



世界遺産に登録されている「アボメイ宮」、柱に施されている装飾が可愛いです



ガンビエの水上集落(イメージ)

ブードゥー教の世界トーゴ

トーゴは南北に長い国土を持ち、面積は日本の7分の1の小さな国です。小さいながらも気候や風俗は多様で、特に南部ではブードゥー教が信仰され、ブードゥー・マーケット(通称魔法使いの市場)には動物の頭蓋骨や鳥の羽など、魔力があるとされる様々なものが売られています。世界中でも極めて珍しい市場です。



ブードゥー・マーケット(イメージ)

地元マーケットを訪ね、アフリカの素顔にふれる

野菜、果物、魚介類、民芸品、古着、生活用品など、ありとあらゆる物が露天に連なるアフリカのマーケットの風景は、まさに「アフリカ」といった世界。他の地域とはまた違った風景で、驚きもあることでしょう。車窓から望める何気ない光景も実に絵になります。



頭に物を載せて運ぶ女性たち、ベナンにて(イメージ)

① 現地事情のご案内

- **気候**：各国とも年間平均27度、平均湿度80%と高温多湿で、乾季(11～3月)と雨季(4～8月)に分かれます。11～2月にかけて、ハマダールと呼ばれるサハラ砂漠からの砂を含んだ風が吹き寄せることもあります。
- **通貨**：ガーナの通貨はセディ、コートジボワール、トーゴ、ベナンの通貨はセファーフランです。日本円からは両替できないため、予めユーロか米ドルをご用意ください。
- **食事**：ホテルでの食事が多く、朝食は主にコーヒーとパンのコンチネンタルスタイルとなります。食材が限られますが、同じような食事が続かないよう配慮いたします。インスタント食品などをお持ちいただくのも良いでしょう。生水を避け、ミネラルウォーターをお飲みください。ミネラルウォーターは必要に応じて毎日差し上げます。アルコールに関する規制はありません。
- **その他の事情**：一部区間、未舗装の道路を走ります。必要な方は腰あてやクッションをご持参されるのも良いでしょう。
- **国境越え**：このたびは、ビザを現地取得ではなく日本にて取得(電子ビザを含む)しますので、比較的スムーズに国境を越えられるかと思いますが、それでもやはり、数時間かかる場合もございます。予めお含みおください。

利用予定航空会社：エチオピア航空		ツアーコード：FW003T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田空港集合・14日間】 12月4日(木)		エコノミークラス利用 ¥975,000	ビジネスクラス利用 ¥1,715,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥140,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：成田空港～アジスアベバ～アビジャン/ノトヌー～アジスアベバ～成田空港間に適用			
燃油サーチャージ別途目安：ビジネスクラス：¥58,000、エコノミークラス：¥31,500 / 4月1日現在			
地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京	片道 …… ¥5,000	包し付条件がございますので各支店へお問い合わせください。
	福岡・札幌～東京	片道 …… ¥10,000	

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港20:30発	成田空港より、航空機にてソウルを経由し、アジスアベバへ。	(機中泊) □□機
2	アジスアベバ107:45着 アジスアベバ10:30発 アビジャン13:45着 グラン・バッサム18:30着	着後、航空機を乗り換え、 コートジボワール (象牙海岸)最大の街アビジャンへ。 アビジャン の簡単な車窓見学後、植民地時代の街並みが残る、 世界遺産の町 グラン・バッサムへ。(グラン・バッサム泊) 機機夕	
3	グラン・バッサム11:00発 (国境) 〰 エルミナ19:00着	午前、フランス時代に首都が置かれていた グラン・バッサム の旧市街を見学します。 その後、国境を越え、 ガーナ のエルミナへ。	【2連泊】(エルミナ泊) 朝 国 夕
4	エルミナ	午前、エルミナの観光。 国 ●セント・ジョージ要塞を見学します。 午後、かつて黒人奴隷の積出港だった●ケープコースト要塞、○ エルミナの漁村 などを見学します。	(エルミナ泊) 朝 国 夕
5	エルミナ08:00発 〰 クマシ13:00着	午前、専用バスにて アシランティ王国の都であったクマシ へ向かいます。 昼食後、多くの人々に賑わう 西アフリカ最大規模の○ケジュチャ市場 を車窓より見学します。	【2連泊】(クマシ泊) 朝 国 夕
6	クマシ	終日、 クマシ の観光。ケンテ織りで有名な○ボヌイレ村、●マンヒヤ宮殿博物館、アシランティ族の歴史や文化を紹介する● 国立文化センター 、 国 アシランティの伝統建築 をご案内します。	(クマシ泊) 朝 国 夕
7	クマシ08:00発 〰 アクラ14:00着	午前、専用バスにて ガーナ の首都 アクラ へ。 昼食後、 アクラ の市内観光。●国立博物館や○ 棺桶マーケット などを見学します。	【2連泊】(アクラ泊) 朝 国 夕
8	アクラ	引き続き アクラ の観光。● コレレプ病院 (野口英世展示室)、○マコロ市場、アフリカ独立運動の父と謳われる ガーナ初代大統領○エンクルマ廟 などを見学します。	(アクラ泊) 朝 国 夕
9	アクラ08:00発 〰 (国境) 〰 ロメ13:00着	午前、専用バスにて国境を越え、 トーゴ へ入国。首都ロメへ。途中、ブルキナファソに源を発するボルタ川を越えます。 着後、 ロメ の市内観光。●国立博物館、○ ブードゥー・マーケット を見学します。	(ロメ泊) 朝 国 夕
10	ロメ08:00発 〰 (国境) 〰 ウイダ 〰 コトヌー 17:30着	午前、専用バスにてトーゴから国境を越え、 ベナン に入国。 ブードゥー教文化が色濃く残るウイダ へ。 着後、 ブードゥー教 の寺院●ヘビ寺や ブードゥー教の聖なる森 、奴隷貿易の終着点である○ 不帰の門 などを訪れます。 午後、海岸線をドライブし、 ベナン最大の町コトヌー へ向かいます。	【3連泊】(コトヌー泊) 朝 国 夕
11	コトヌー 〰 (アボメイ)	終日、ダホメー王国の中心であった北部のアボメイを訪ね、 国 ○ アボメイ宮 を訪ねます。	(コトヌー泊) 朝 国 夕
12	コトヌー 〰 ポルト・ノヴォ 〰 アボメイ・カラヴィ 〰 アボメイ・カラヴィ 〰 コトヌー	午前、 ベナン の首都 ポルト・ノヴォ へ。● 旧王宮 を見学します。 午後、○ たけし日本語学校 に立ち寄り、ノクエ湖沿いにドライブしながらアボメイ・カラヴィへ。 その後、ポートにて、 アフリカ唯一の水上集落ガンビエ を訪ねます。	(コトヌー泊) 朝 国 夕
13	コトヌー 13:30発 アジスアベバ121:10着 アジスアベバ122:35発	午前、空港へ。着後、航空機にてアジスアベバへ。 航空機を乗り換え、ソウルを経由し、帰国の途へ。	(機中泊) 朝 機 機
14	成田空港19:30着	夜、成田空港に到着後、解散。	機 機 □

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食11回、昼食10回、夕食11回 ■添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：見開き2ページを3か所以上含む、計8ページ以上必要
■このコースでは黄熱病予防接種証明書が必要です。遅くとも査証申請時(ご出発の1か月前)に必要となります。 ※昨今、ワクチン不足に伴い、黄熱病予防接種のための予約が大変取りづらくなっておりますので、新たにご取得される方は、お申込みと同時に予防接種の予約をされることをお勧めいたします。詳細はお問合せください。
■バスポート本体及び黄熱病予防接種証明書本体をお預かりします。
■査証料：コートジボワール・・・73ユーロ (約12,100円) E-VISA / ガーナ・・・9,440円 大使館にて取得 / トーゴ・・・25,000CFAフラン (約6,500円) E-VISA / ベナン・・・50ユーロ (約8,300円) E-VISA
■査証手続き手数料：1か国につき6,600円(税込) 合計26,400円
■査証用写真：2枚(縦4.5cm×横3.5cm。カラー写真のみ(背景の色は白色のみ)。メガネ着用不可。6か月以内に撮影のもの。正面向き、無帽、スナップ写真不可。バスポートと同じ写真はお避けください。)

ご宿泊ホテル

- グラン・バッサム：コーラル・ビーチ・ホテル
- エルミナ：ココナッツ・グローブ・ビーチ・リゾート
- クマシ：ホテル・ロイヤル・リゾート
- アクラ：ココナッツ・グローブ・リージェンシー・ホテル
- ロメ：オノモ・ホテル
- コトヌー：アザライ・ホテル

※いずれのホテルも土地柄シャワーのみの客室となります。
※上記ホテルを予定しておりますが、政府の利用や貸し切りなどの現地事情により、上記以外のホテルとなる場合がございます。予めご了承ください。